○計画停電時の対応について

【ご連絡事項】

当社機器は停電復帰機能が標準で装備されております。

＜ご注意事項＞

・安全増し仕様の機器及び旧型機器においては、停電復帰機能が未搭載の場合がございます。
お手数ではございますが、お客様保管の機器仕様書をご確認願います。
但し製品のバックアップ回路に不具合が発生していると、停電復帰機能が搭載されていても
正常に停電復帰しない場合もございますので、弊社HPに掲載されている「地震に伴う異常
処理手順」をご確認頂ければと思います。

計画停電などの停電発生時、機器に不具合がない場合は電源受電後に自動的に運転復帰を行います。
しかしながら、今般のように計画停電で複数の機器が同時に自動復帰する場合には、お客様の設備の電源容量を、安定性試験機器、恒温恒湿槽（恒温槽）及び恒温恒湿室（恒温室）の使用電力量が一時的に越えてしまい、お客様側の安全装置が作動する可能性があります。
お客様の電源容量を使用電力量が超えた場合には、具体的に以下の不具合が発生する可能性があります。

①お客様側設備の安全ブレーカー、漏電遮断機等が作動して接続されている全製品の電源が落ちる
可能性があります。
②お客様側設備ブレーカー等のヒューズが切断する・溶断する可能性があり、以後の設備復旧に
時間を要する可能性があります。
③当社の機器に搭載されているヒューズも、断線する可能性があります。

その為、計画停電の時間が判明した場合には、次のように対応することをお勧めします。

【対応方法】

①計画停電が判明した際には、事前に機器を停止させる。停止方法は、機器の型式によりますのでお持ちの
取扱説明書などを、ご確認の上で対応願います。機器停止後は、メインブレーカーを OFF にしてください。
②恒温恒湿運転時、機器を停止するとしばらくは槽内の湿度が上昇する可能性がございます。
検体保護の観点並びに高分子膜湿度センサをご使用の場合には、湿度センサの保護を目的に機器停止後は、**機器の扉を開放**し、槽内の温度・湿度を開放するようにお願いします。
③計画停電終了時は、複数台の機器を同時に運転開始することは避けてください。お手数ではございますが、
１台ずつメインブレーカーを ON にしてください。可能な限り、運転開始時期はずらす事をお勧めいたします。
目安としましては 1 台あたりの復帰タイミングは、3分程度間隔をあけるようにお願いします。

【連絡先】

ご不明な点は、下記までご連絡をお願いします。

メンテナンスコール（接続先 ： 大阪府／西日本メンテナンス G）
TEL ： 0120 － 81 －8806